



異分野融合リサーチワークショップ
人社棟B620 2010年6月7日

勉強しましょう

沼田善子（文芸・言語専攻）

アウトライン

- 日本語文法の記述的研究
- とりたて詞の研究
- 研究と出逢い
- 仕事としての研究
- 研究と社会、研究と生活

1. 日本語文法の記述的研究

- 現代日本語の文法を記述的に研究すること
- 99パーセントの努力と1パーセントの「ひらめき」
- 「ひらめき」を支える訓練
- 続ける力…楽しいかどうか

2. とりたて詞の研究

- 新しいカテゴリーの設定と記述
 - 多勢に無勢の怖さと動きやすさ —
- 「も」「だけ」「ばかり」「しか」「こそ」「など」など
 - 愛おしい「ことばたち」 —
- 体系的記述を目指す
 - 全体を見渡す、全体を見直す —
- 研究発表 — 気づくことと育むこと —

3. 研究と出逢い

- 大学院の指導教官、先輩、同僚
- 停滞と展開 ー 苦しい時の著述 ー
- 研究の進化、新しい展開を支える連携

4. 仕事としての研究

- 何のために
- 研究と教育

—いろいろな意味で、学生と共に—

5. 研究と社会、研究と生活

- より広い視野で、何のために
- 研究を通してできること
- 生活の中での優先順位
- めげずに進むために…